

「私の挑戦」

越前市南越中学校 3年 岩野 百々 (いわの もも)

みなさんは自分に自信を持って生きていますか？

私は以前、自分に自信がありませんでした。なぜなら、特技がなく何事も中途半端に終わってしまう自分の性格に自信を持てなかったからです。また、物事を深く考えてしまい、新しいことに挑戦したり、自分の意見を積極的に伝えたりすることを避けていました。しかし、心の中では変わりたいという思いを抱いていました。

中学生になり、自分達の力で学校を作り上げていく先輩方や生徒会の人達がとても輝いて見えて、自分もこうなれたらと憧れるようになりました。そこで、私は小さな挑戦が自分を変えるきっかけになるのではと考え、今までの自分だったら失敗を恐れて諦めていたようなことにも挑戦するようになりました。一つ目の挑戦は、二年生の時のクラスの級長です。大した仕事はなかったかもしれませんが、クラスメイトが少しでも私を頼り、「ありがとう」と言ってくれることがただただ嬉しく、自信を持つことへの大きな一歩となりました。そして今年の三月、担任の先生から生徒会の副会長に立候補しないかというお話をいただきました。意外にも答えはすぐに出て、生徒会選挙に立候補することを決意しました。私の二つ目の挑戦です。私は生徒全員が意見を伝えられて、個性を大切にできる学校づくりを目指し、選挙活動を行いました。演説では、立候補が自分にとって大きな挑戦であることや、自分と同じような性格の人に自信を持つことの大切さを知ってほしいということを伝えました。周りの人たちの助けもあり、私は選挙に当選することができました。私の演説を聞いて信じてくれた人の票を無駄にしないように、生徒会の仲間と共に、生徒一人一人が輝く学校づくりを進めています。

こうして、以前よりもいろいろなことに挑戦するようになり、少しずつ自分が変わっていていることを感じ始めていましたが、驚いたのは、周りの人も私の変化を見てくれていたことです。友達は私が変わっていったことに気づき、頑張っている私が好きだと言ってくれました。何度もチャンスをくださった担任の先生は挑戦しようとしたことを心から喜んでくれました。母に生徒会に立候補したことを伝えると、「後悔するよりも、やってみることが大切だ」と背中を押してくれました。自分の頑張っていることを周りを見せていることに気づき、周りの人の存在が私にとってとても大きな支えになっていることを感じました。そして何より、自分に自信を持てるようになり、少しずつ挑戦を重ねていけるようになった自分を好きになることができました。

しかし最近、若者の自己肯定感が低いことが至る所で取り上げられています。自信を持っていないと、挑戦することに苦手意識を持つようになります。確かに、新しいことに挑戦することは少し怖くて、勇気が必要です。しかし、地道に積んだ努力も、一歩踏み出した勇気も自分が一番知っているはずなのに、「自分なんて」や「どうせ失敗する」といったネガティブな気持ちをもってしまうのは、あまりに辛く、悲しい生き方だと思いませんか。自分の努力を認めて、その努力を自信へと変えることで結果を残すことができるのです。失敗するかもしれない。誰かに笑われるかもしれない。それでもとりあえず、やってみるのです。すると、初めて気づくこともあり、新たな課題も明確に見えてきます。そしてまた、その課題を乗り越えていく。そういったことを繰り返していくことで成長していくのだと私は思っています。できない自分を否定しつづけるのは自分が苦しいだけです。きっかけはすごく小さなことかもしれないけれど、そこから見えてくる世界は無限に広がっています。少しでも挑戦してみる価値はあるのではないのでしょうか。

私は自分の経験から多くのことを学び、自分と向き合うことができました。そして今、同年代の人たちが、私と同じように自分の思い描く未来に向かって、自信を持って生きてほしいと思うようになりました。些細なことから人は大きく成長できるということ、自分の努力に気づいてくれる人が必ずいるということ、自信を持つことで新しく明るい景色が見えるということを知ってほしいのです。自信を持つことは、いつか必ず生きる力や自分の強みになる、私はそう信じています。